

放射線診断専門医を取得するまでの流れ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
初期臨床研修	専門研修プログラム		専門研修			診療、研究、教育へ従事			
	関連病院または大学病院で研修					大学病院や関連病院へ			
初期臨床 研修医	放射線科 専攻医			放射線科 専門医		放射線診断専門医			

放射線科専門医
認定試験

放射線診断専門医
認定試験

大学院進学・学位取得
(希望者は留学へ)

経験すべき症例数

	放射線科専門医	放射線科診断専門医
X線単純撮影	400例	400例
CT	600例	1500例
MRI	300例	1000例
消化管X線検査	60例	40例
超音波検査	120例	50例
核医学検査	50例	60例
IVR	30例	40例
	血管系10例以上、非血管系5例以上	—
放射線治療	30例	—
	①脳・頭頸部②乳腺・胸部 ③腹部・骨盤④骨軟部 各4例以上	—
備考	3年のうちに2施設以上で研修(1年以上は総合修練施設、半年以上はプログラム基幹施設で研修)	プログラム基幹施設での研修は必須ではない 放射線科専門医研修で余分に経験した症例を一部利用可
	学会発表+論文発表、講習受講が必要	学会発表+論文発表、講習受講が必要

主な関連病院(研修プログラムより抜粋)

- 大阪赤十字病院
- 京都市立病院
- 倉敷中央病院
- 北野病院
- 市立岸和田市民病院
- 神戸市立医療センター中央市民病院
- 天理よろづ相談所病院
- 京都医療センター
- 日本赤十字社和歌山医療センター
- 兵庫県立尼崎総合医療センター
- 福井赤十字病院
- 市立大津市民病院
- 大津赤十字病院
- 滋賀県立総合病院
- 静岡市立静岡病院
- 京都桂病院
- 洛和会音羽病院
- 市立長浜病院
- 大阪公立大学医学部附属病院

※太字は日本医学放射線学会認定総合修練施設
灰色は放射線治療科が主体の関連施設

当教室から参加者の多い主な学会

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
国際学会		ECR(欧州放射線学会議)		ISMRM(国際磁気共鳴医学会)		SNMMI(核医学・分子イメージング学会)			CIRSE(欧州IVR学会)	EANM(欧州核医学学会)		RSNA(北米放射線学会)	
国内学会		日本神経放射線学会		日本医学放射線学会総会	日本核医学会春季大会	日本腹部放射線学会	日本MRI学会総会	日本乳癌学会学術総会	JAMIT(日本医用画像工学会)	JSAMI	日本磁気共鳴学会	日本医学放射線学会 秋季臨床大会	日本核医学会学術総会